



shaping your dreams

2022年11月期 決算説明資料

オーエスジー株式会社
2023年1月

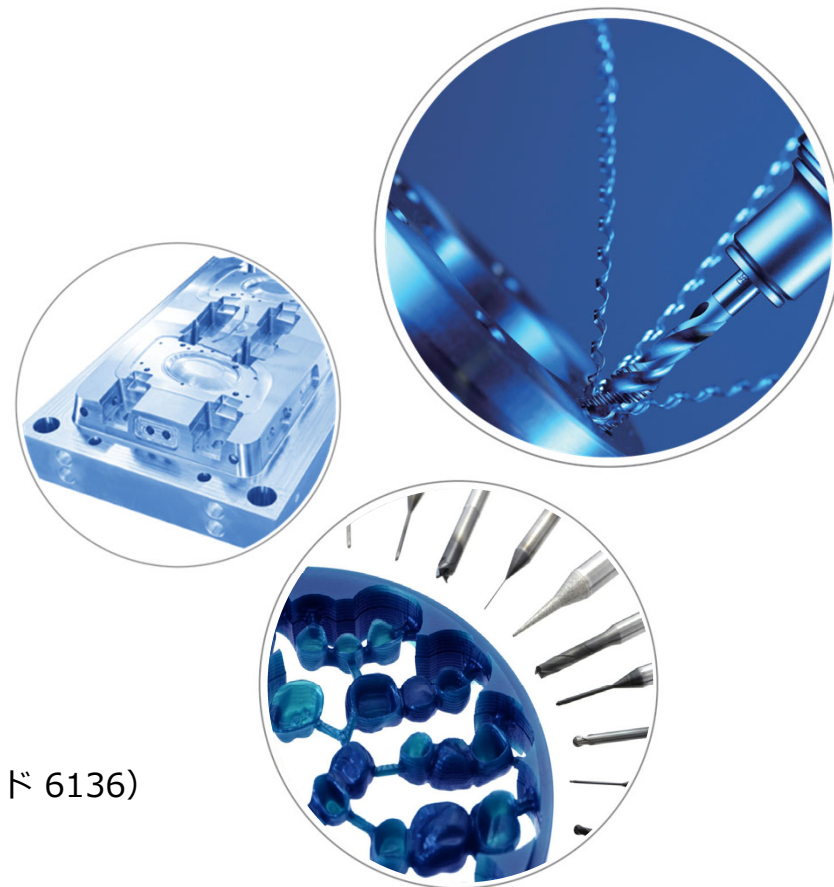


◆ P2-3	会社概要
◆ P4-5	決算概要
◆ P6-7	決算のポイント
◆ P8-9	外部顧客への売上高
◆ P10-11	セグメント利益
◆ P12	海外売上高
◆ P13-14	製品別売上高
◆ P15	BS主要指標・EBITDA

◆ P16	利益の増減分析
◆ P17	キャッシュフロー概要
◆ P18	設備投資・減価償却費
◆ P19	業績予想
◆ P20	為替レート
◆ P21	業績・経営指標
◆ P22	OSGグループネットワーク
◆ P23-33	中期経営計画

会社概要

商 号 オーエスジー株式会社
本 社 愛知県豊川市本野ヶ原3-22
設 立 1938年3月26日
資 本 金 130億44百万円
従業員数 連結7,543名、単独1,899名
事業内容 切削工具、転造工具の製造販売
上場市場 東証プライム・名証プレミア (証券コード 6136)



注意事項

- この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。
- これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報からの判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確定な要素を含んでいます。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

会社概要

製品

- ・ 主に工作機械で使われる消耗工具
- ・ 創業製品である**タップ**は
世界トップシェア（約30%超）

OSGの強み

- ・ 高付加価値製品を生み出す高い技術力
- ・ 堅固なお客様サポート体制
- ・ 世界33カ国に渡る
グローバルネットワーク



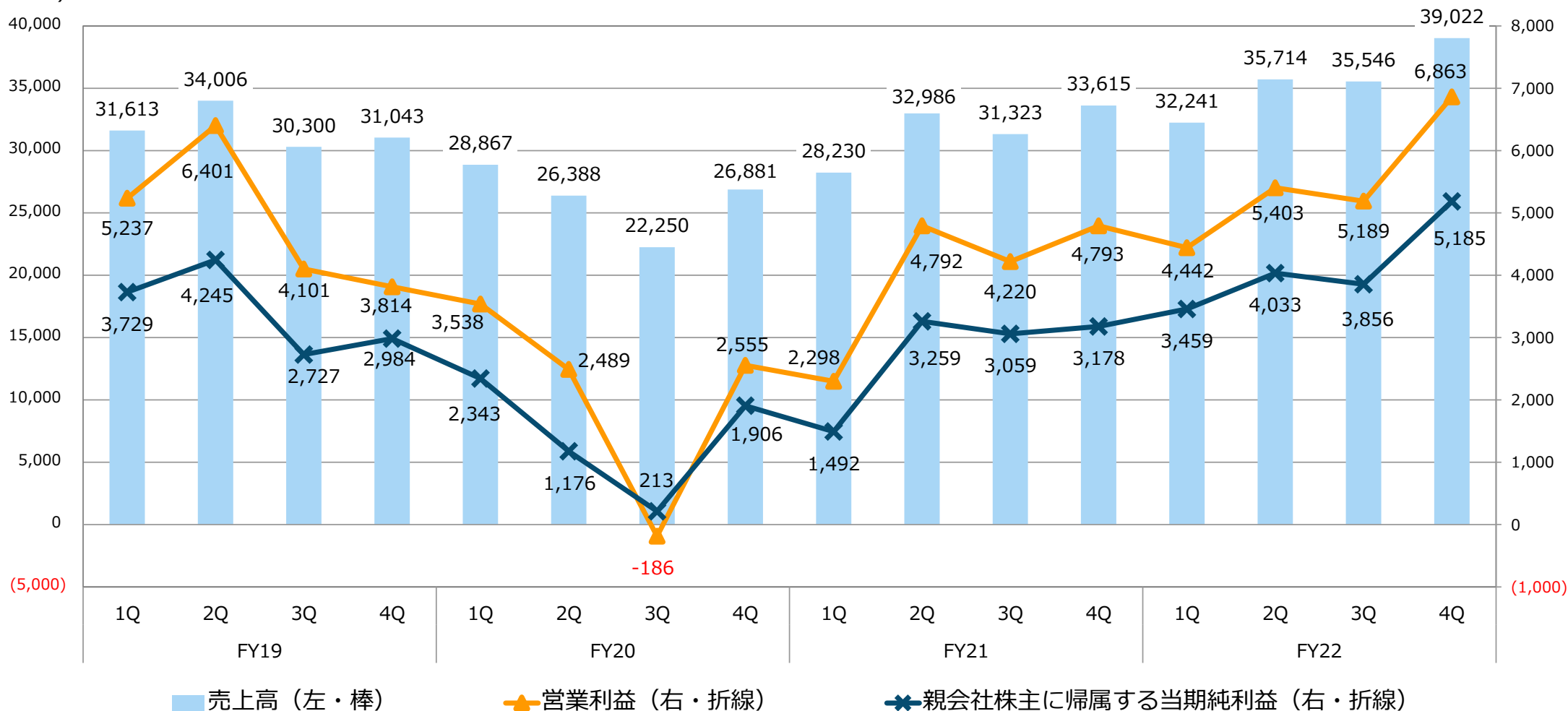
決算概要

(百万円)

	FY21	FY22	前期比	FY22 通期予想	進捗率
売上高	126,156	142,525	+12.9%	135,000	105.6%
営業利益	16,105	21,898	+35.9%	20,200	108.4%
営業利益率	12.8%	15.4%	-	14.9%	-
経常利益	16,141	23,648	+46.5%	20,200	117.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,989	16,534	+50.4%	13,600	121.6%
EPS (円)	112.63	171.54	+52.3%	140.77	-

決算概要

(百万円)



決算のポイント

タップ、ドリル売上が牽引し、 過去最高の売上、経常利益、純利益

➤ キーとなる指標 & 設備投資実績

ーEBITDA	323億円	(前期比 + 21.3%)
ーEBITDAマージン	22.7%	(前期比 + 1.5pt)
ーフリーCF	80億円	(前期比 - 60.0%)
ーROE	10.7%	(前期比 + 2.7pt)
ー自己資本比率	72.0%	(前期末比 + 3.4pt)
ー設備投資実績	86億円	
ー減価償却費実績	104億円	



決算のポイント

米州

航空機産業が回復傾向。北米は堅調を維持。中南米は好調。売上、利益は過去最高。

アジア

中華圏はコロナ影響残る。その他アジア地域は堅調。アジアの売上、利益は過去最高。

欧州/アフリカ

代理店、一般部品産業向けは好調を維持。航空機産業の回復も伴い、売上、利益は過去最高。

日本

トップを中心に一般部品産業向けの売上が伸長。機械部品向けなど標準品が堅調。

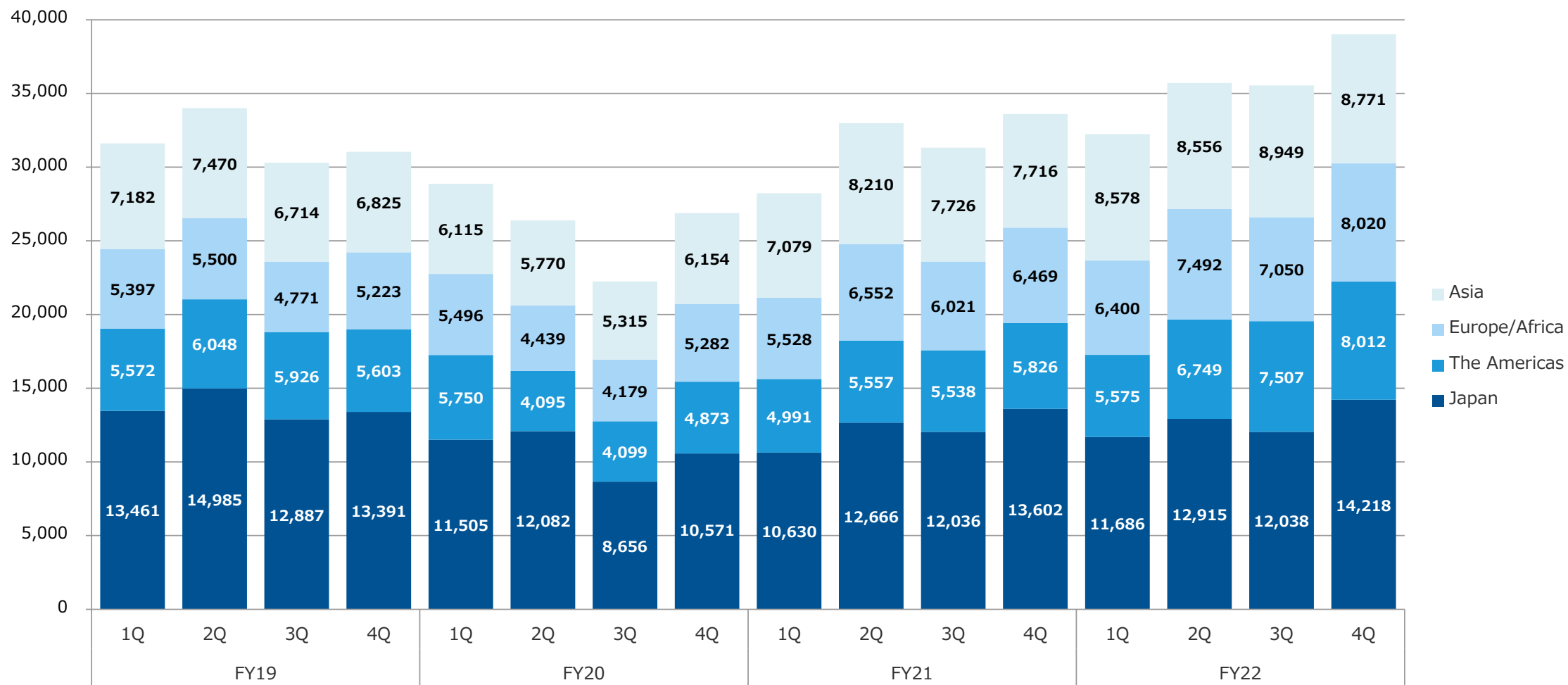
外部顧客への売上高

(百万円)

	FY21	FY22	増減額	前期比	現地通貨ベース 前期比
日本	48,935	50,858	1,923	+3.9%	-
米州	21,915	27,845	5,929	+27.1%	+6.3%
欧州・アフリカ	24,573	28,964	4,391	+17.9%	+10.9%
アジア	30,732	34,856	4,123	+13.4%	+1.6%
連結	126,156	142,525	16,368	+13.0%	-

外部顧客への売上高推移

(百万円)



セグメント利益

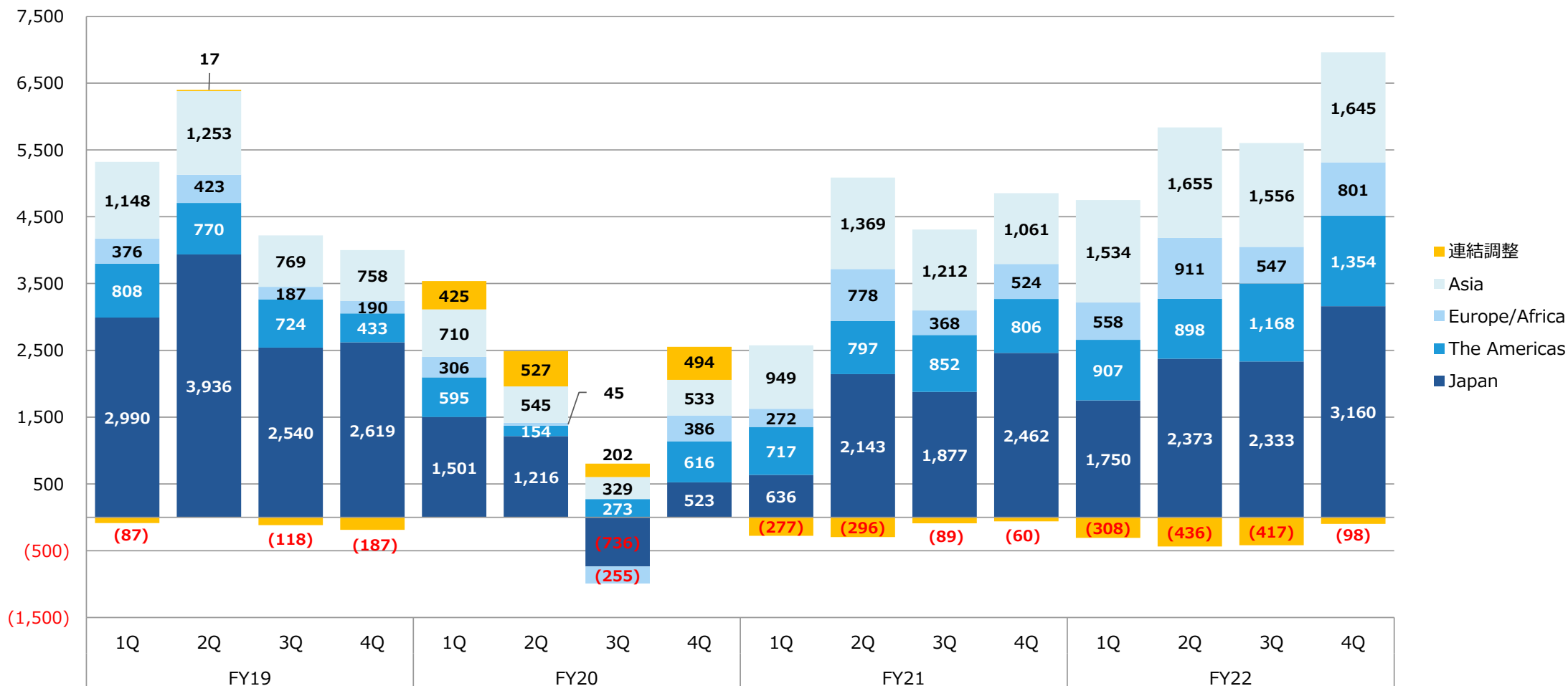
(百万円)

	FY21	構成比	FY22	構成比	増減額	前期比	利益率(※)
日本	7,119	42.3%	9,617	41.5%	2,498	+35.1%	13.1%
米州	3,173	18.9%	4,327	18.7%	1,154	+36.4%	15.0%
欧州・アフリカ	1,943	11.5%	2,820	12.2%	876	+45.1%	9.6%
アジア	4,592	27.3%	6,392	27.6%	1,800	+39.2%	16.6%
計	16,829	-	23,158	-	6,329	+37.6%	13.6%
調整	-723	-	-1,260	-	-536	-	-
連結	16,105	-	21,898	-	5,792	+36.0%	15.4%

※「外部顧客への売上高」と「セグメント間の内部売上高」の合計に対する営業利益率

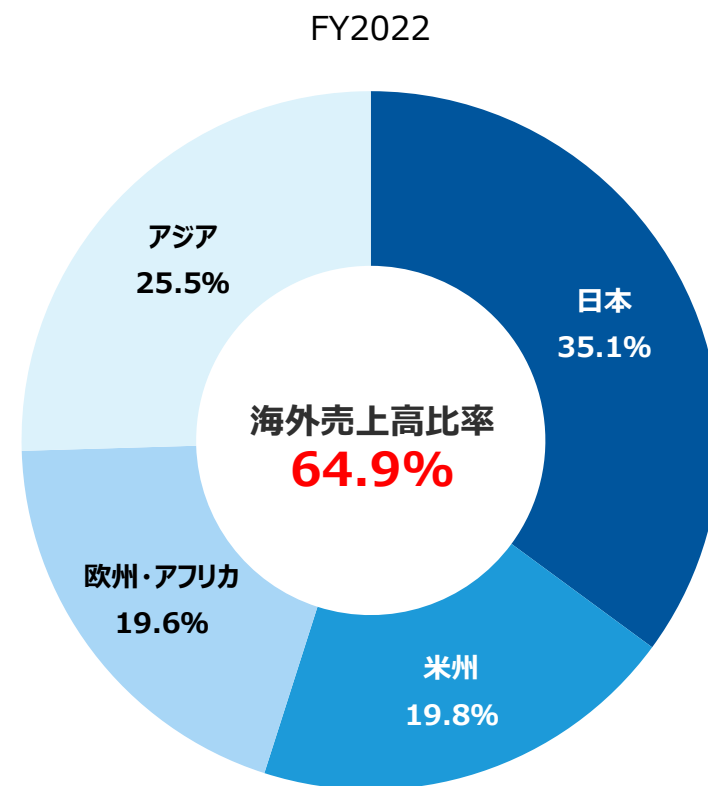
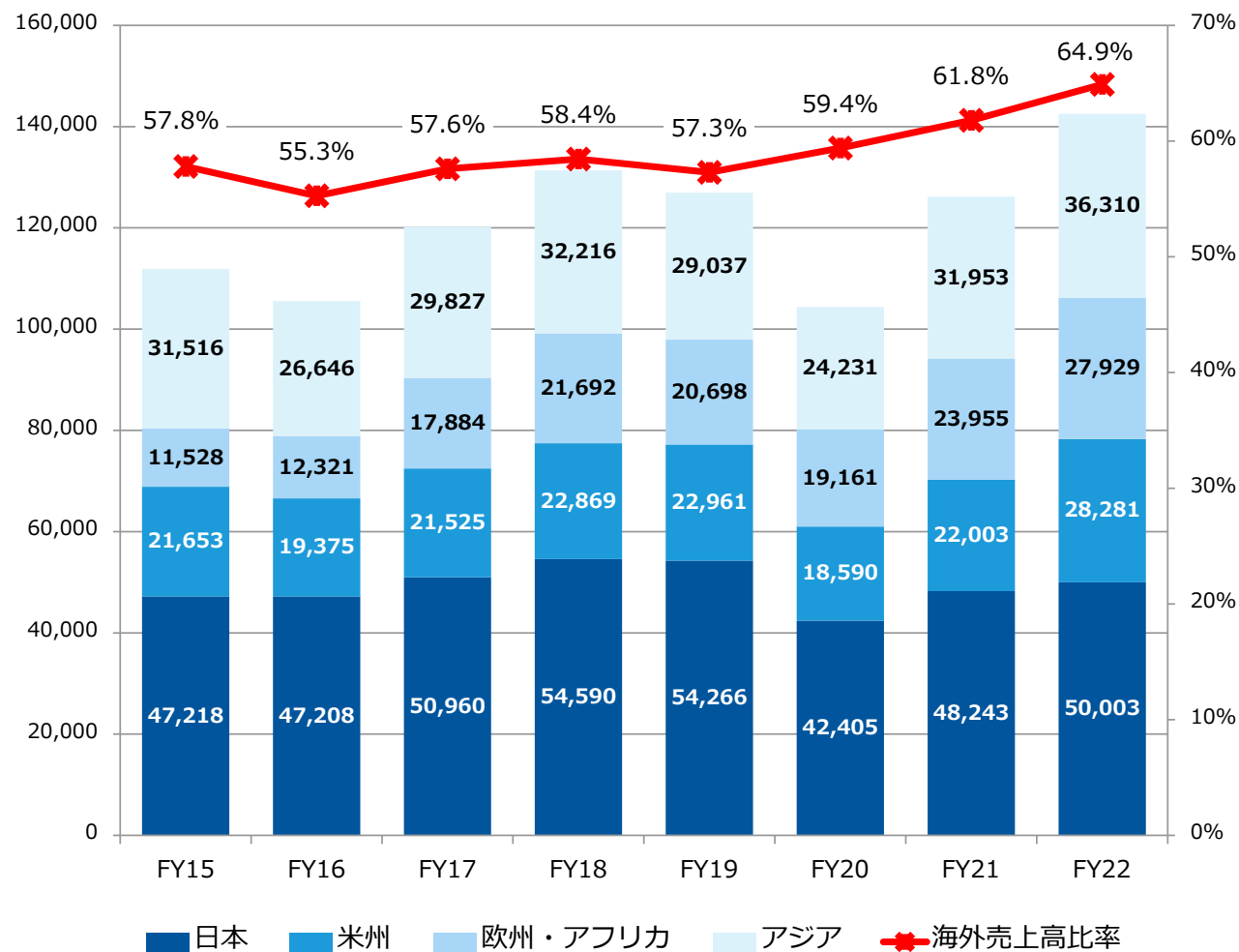
セグメント利益推移

(百万円)



海外売上高の推移

(百万円)



製品別売上高

(百万円)

		FY21						FY22						前期比	
		1Q	2Q	3Q	4Q	通期		1Q	2Q	3Q	4Q	通期		増減	
精密工具	ねじ切り工具	9,524	11,384	10,879	11,451	43,239	34.3%	11,397	12,570	12,590	13,815	50,374	35.3%	7,134	16.5%
	ミーリングカッター	5,281	6,240	5,923	6,560	24,006	19.0%	5,844	6,597	6,722	7,219	26,383	18.5%	2,376	9.9%
	ドリル他切削工具	8,077	9,359	8,952	9,332	35,721	28.3%	9,162	10,302	10,222	11,295	40,982	28.9%	5,261	14.7%
	転造工具	2,354	2,723	2,455	2,519	10,052	8.0%	2,377	2,757	2,621	2,859	10,616	7.4%	563	5.6%
	測定工具	373	445	448	480	1,747	1.4%	449	524	488	529	1,991	1.4%	243	14.0%
	計	25,611	30,153	28,659	30,344	114,769	91.0%	29,231	32,751	32,646	35,719	130,348	91.5%	15,579	13.6%
その他	機械	956	1,006	864	1,346	4,173	3.3%	783	1,008	893	1,222	3,907	2.7%	-266	-6.4%
	その他	1,663	1,826	1,799	1,924	7,213	5.7%	2,227	1,953	2,007	2,080	8,269	5.8%	1,055	14.6%
	計	2,619	2,833	2,663	3,271	11,387	9.0%	3,010	2,962	2,900	3,303	12,176	8.5%	789	6.9%
合計		28,230	32,986	31,323	33,615	126,156	100%	32,241	35,714	35,546	39,022	142,525	100%	16,368	13.0%

製品別売上高推移

(百万円)

16,000

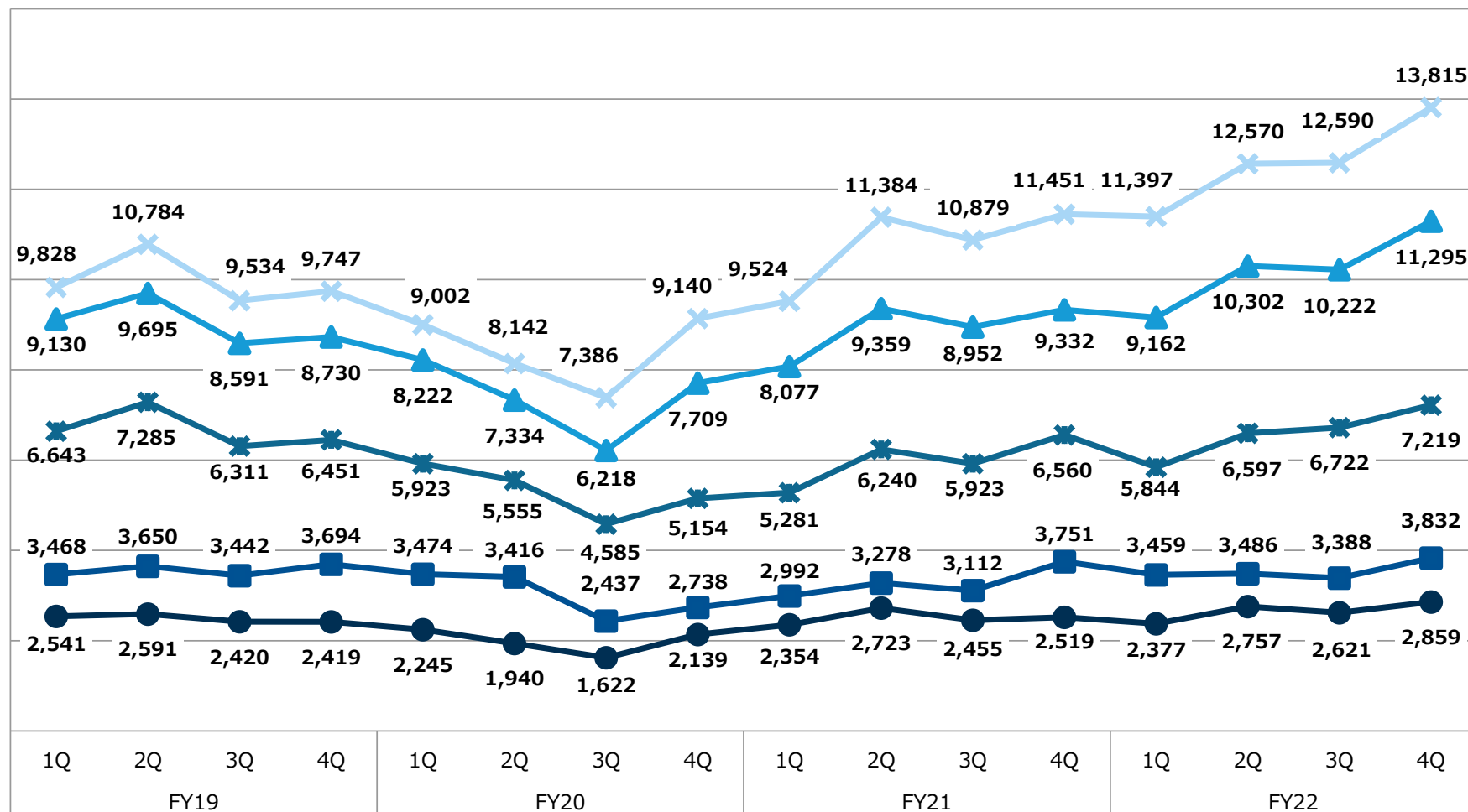
12,000

8,000

4,000

2,000

0

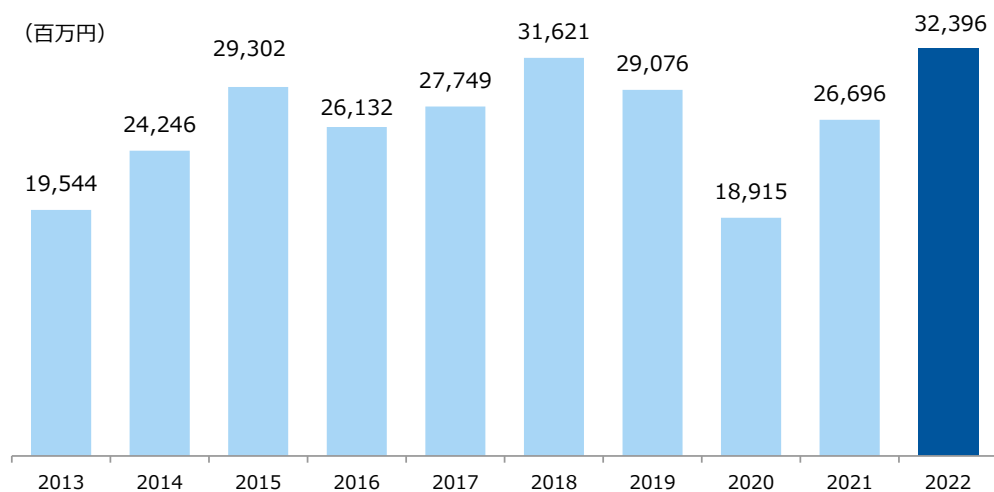


BS主要指標・EBITDA

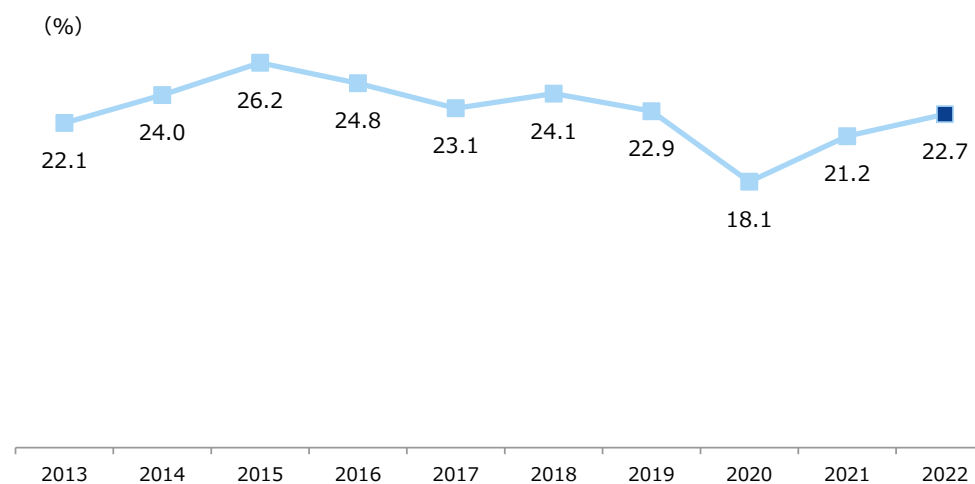
(百万円)

	FY21	FY22		FY21	FY22
自己資本比率 (%)	68.6	72.0	現金預金	46,795	46,697
売上債権回転日数 (日)	68.1	68.9	有利子負債	30,751	25,570
棚卸資産回転期間 (ヶ月)	4.1	4.4	Net Cash	16,043	21,126

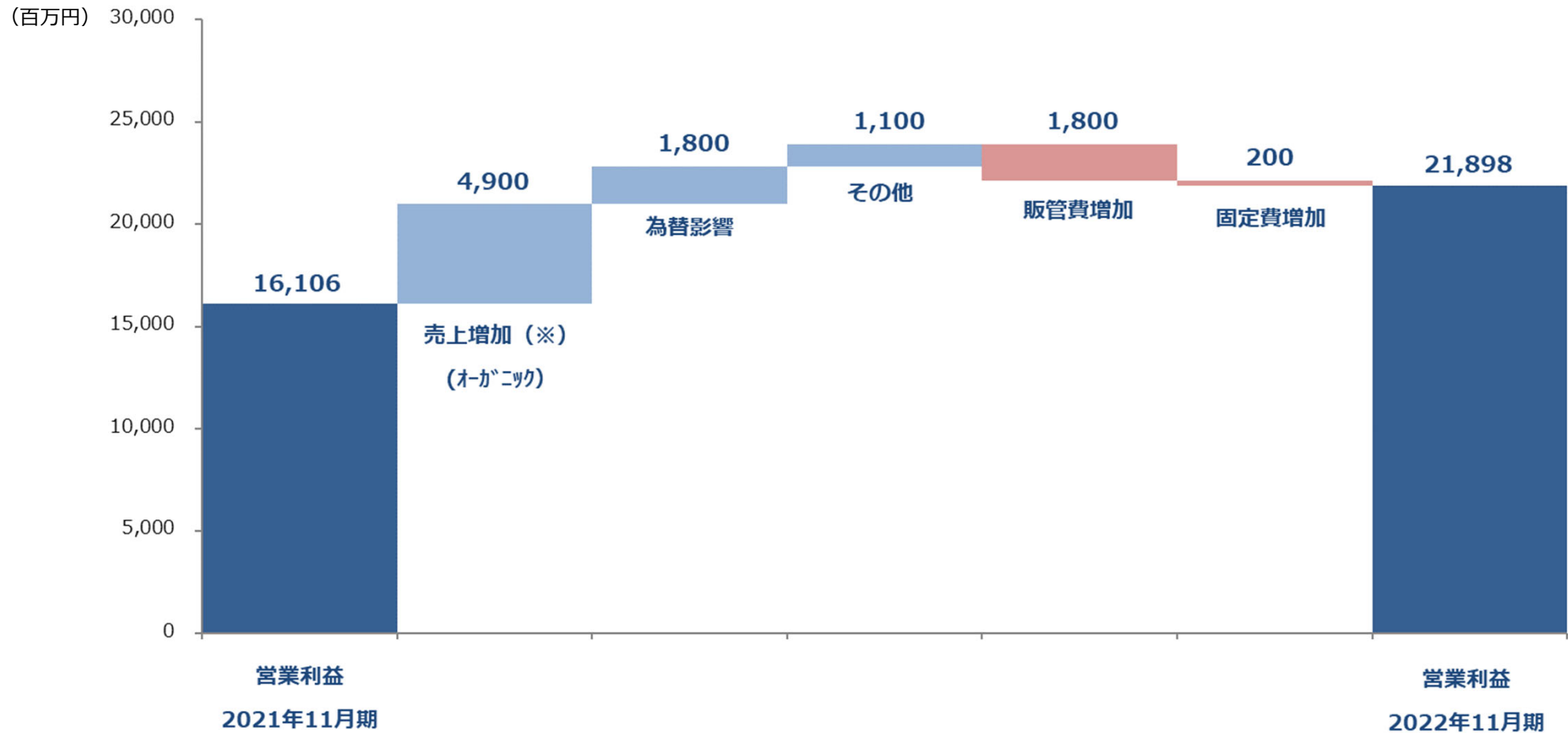
EBITDA



EBITDAマージン



利益の増減分析



(※) 「収益認識に関する会計基準」の適用により、これまで営業外費用として計上していた売上割引を当期から売上より控除しています。その結果、2022年11月期において営業利益7.7億円の減益要因となっていますが、経常利益への影響はありません。

キャッシュフロー概要

(百万円)

	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	前期比 増減
税金等調整前当期利益	22,567	19,845	8,896	16,354	23,378	7,023
減価償却費	9,100	9,522	10,518	10,591	10,498	-92
売上債権増減	-1,494	1,902	2,832	-2,448	-1,466	982
棚卸資産増減	-3,854	-6,319	1,822	1,864	-5,269	-7,133
仕入債務の増減	768	453	-1,555	243	247	3
未払費用の増減	593	115	-1,704	1,227	853	-373
法人税の支払	-7,359	-6,503	-4,743	-2,703	-7,645	-4,942
その他	-196	244	972	1,853	-420	-2,273
営業キャッシュ・フロー	20,125	19,261	17,038	26,982	20,175	-6,806
有形固定資産の取得	-11,464	-17,139	-9,895	-5,555	-8,600	-3,044
子会社株式の取得	-620	-1,158	-2,054	-346	-981	-634
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取	-	-	-3,266	-	-	-
定期預金の支出入	-1,307	-532	-583	-1,455	-2,595	-1,139
その他	41	-1,485	-1,332	395	5	-390
投資キャッシュ・フロー	-13,351	-20,314	-17,133	-6,961	-12,170	-5,209
フリーキャッシュ・フロー	6,773	-1,052	-94	20,021	8,004	-12,016
有利子負債の増減額	305	6,258	14,692	-11,586	-4,197	7,389
配当の支払	-4,581	-4,709	-3,439	-2,440	-4,357	-1,916
非支配株主への配当金の支払額	-416	-525	-298	-323	-359	-36
社債の発行による収入	-	5,000	-	-	-	-
自己株式の取得による支出	-4	-1,899	-1	-2	-5,953	-5,961
その他	-26	-659	-1,293	89	127	38
財務キャッシュ・フロー	-4,723	3,465	9,658	-14,264	-14,740	-476
換算差額	-333	-690	-88	1,224	3,098	1,873
キャッシュの増減	1,716	1,721	9,475	6,981	-3,637	-10,618
新規連結に伴うキャッシュ増加	229	437	120	73	-	-73
キャッシュ期末残高	21,545	23,704	33,299	40,354	36,717	-3,637

設備投資・減価償却費

2023年度 設備投資予想

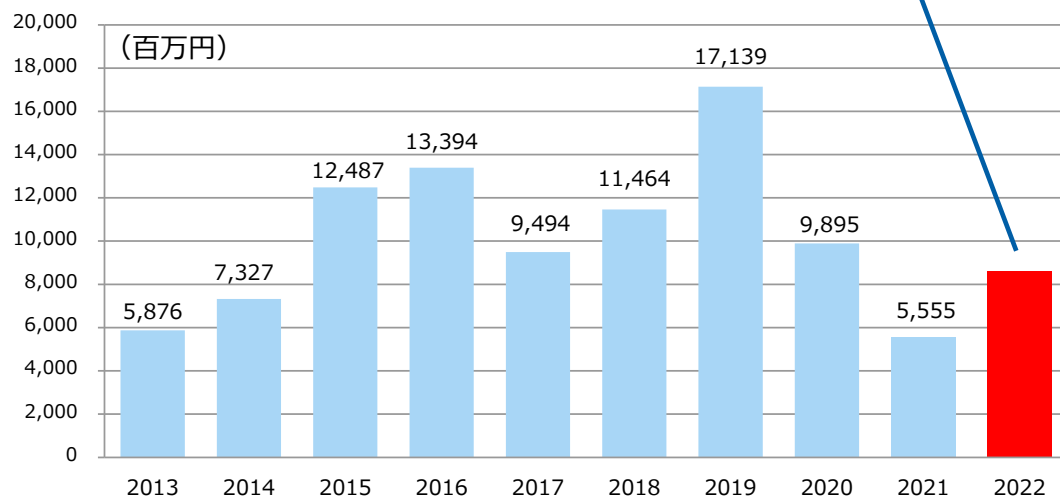
約125億円

Breakdown

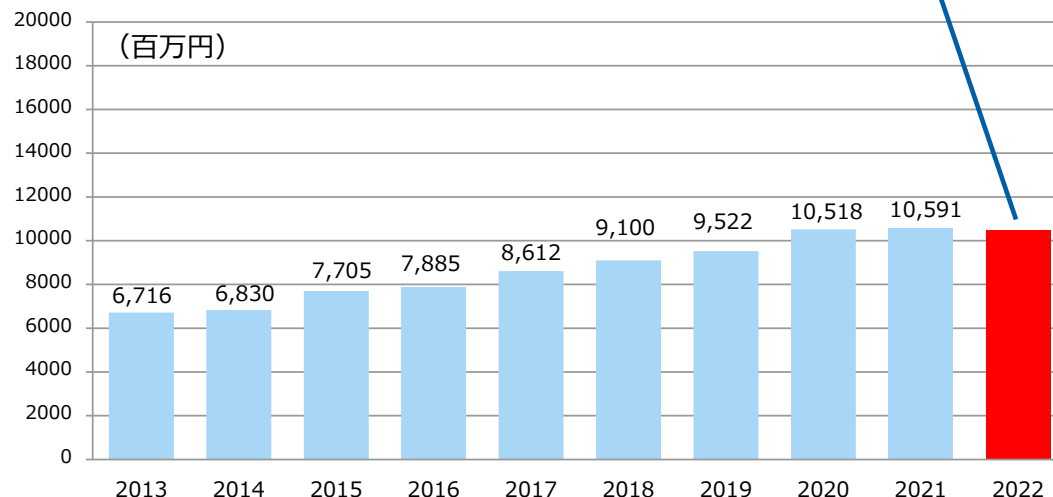
前期末検収の約10億円を含む
機械設備の更新及び増強が中心

設備投資実績：8,600

減価償却費実績：10,498



設備投資実績



減価償却費

2023年11月期 業績予想

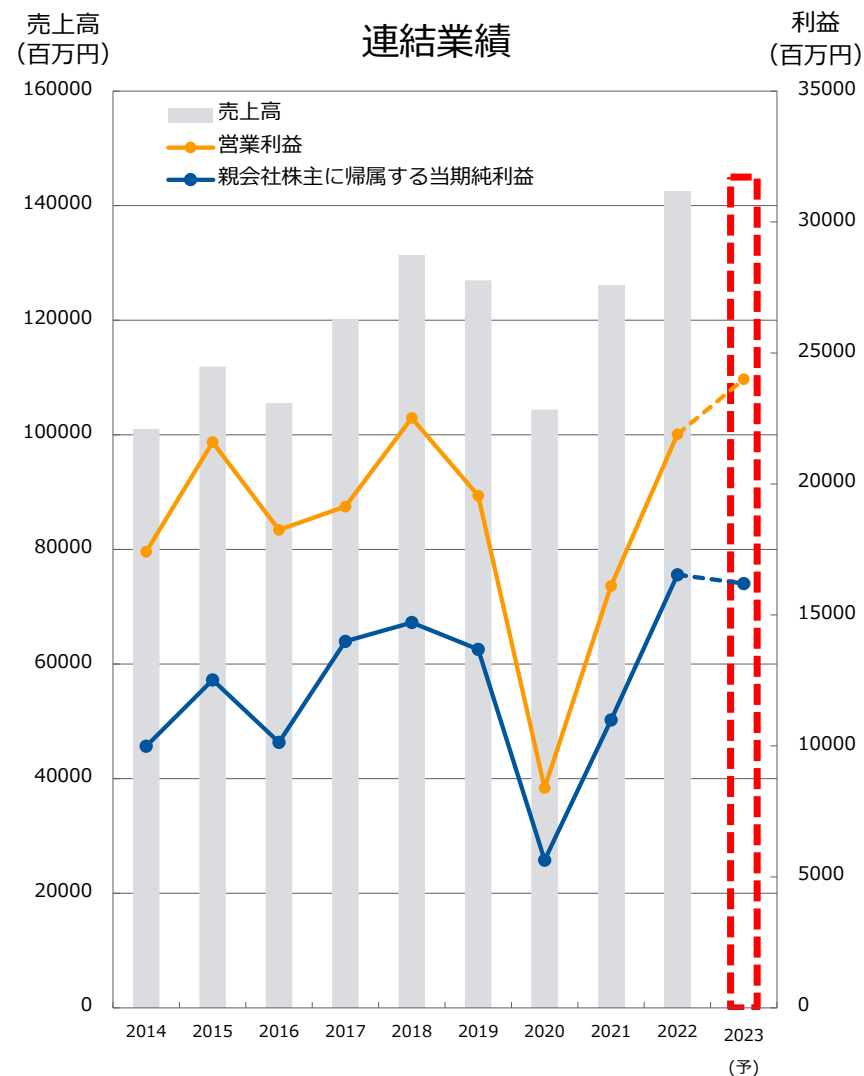
連結

単体

	(百万円)	前期比	(百万円)	前期比
売上高	145,000	+1.7%	58,000	+1.8%
営業利益	24,000	+9.6%	6,900	+2.5%
対売上比	16.6%	-	11.9%	-
経常利益	24,000	+1.5%	11,000	-16.3%
対売上比	16.6%	-	19.0%	-
親会社株主に帰属する当期純利益	16,200	-2.0%	9,500	-9.0%
対売上比	11.2%	-	16.4%	-
EPS (円)	169.33	-	99.27	-

FY2023 予想前提レート： 1US\$=130円 1Euro=137円

(注) 単体経常利益の減益理由：前期はグループ会社から単体へ特別配当を行った為



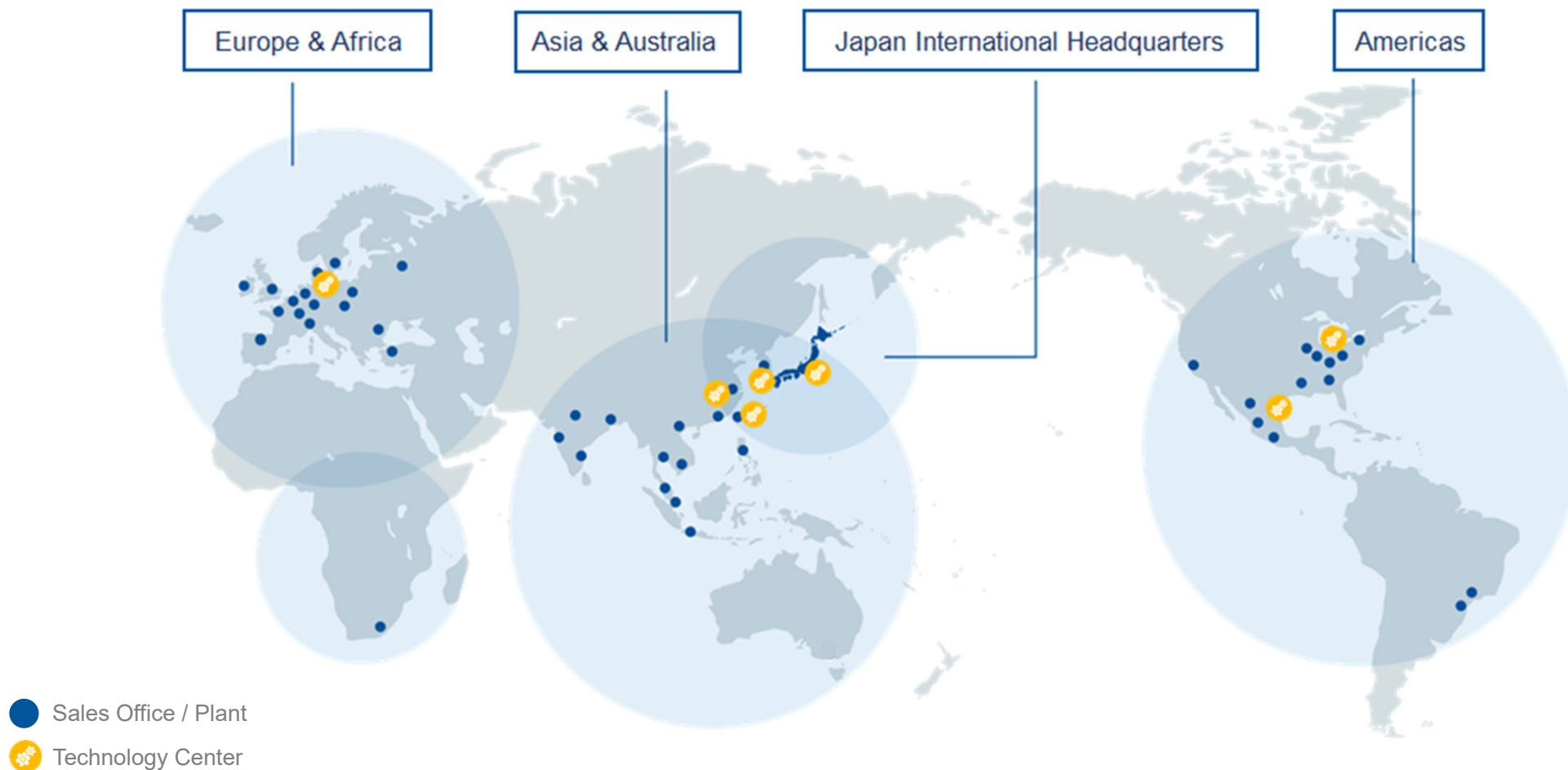
為替レート

	1US\$	1Euro	1RMB
FY17	112.33円	126.20円	16.59円
FY18	110.53円	130.68円	16.74円
FY19	109.36円	122.53円	15.86円
FY20	106.94円	121.60円	15.41円
FY21	109.41円	130.04円	16.94円
FY22	130.61円	137.60円	19.42円

業績・経営指標（連結ベース）

		2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
売上高	(百万円)	84,083	88,378	101,031	111,917	105,561	120,198	131,368	126,964	104,388	126,156	142,525
売上高成長率(対前期)	(%)	4%	5%	14%	11%	-6%	14%	9%	-3%	-18%	21%	13%
売上原価	(百万円)	49,381	52,777	58,061	61,865	59,179	69,711	74,833	73,281	65,715	76,969	83,459
売上総利益	(百万円)	34,702	35,601	42,970	50,051	46,382	50,486	56,535	53,682	38,673	49,186	59,065
販売費及び一般管理費	(百万円)	20,747	22,774	25,554	28,454	28,135	31,349	34,015	34,128	30,276	33,081	37,166
営業利益	(百万円)	13,954	12,827	17,415	21,597	18,246	19,137	22,520	19,554	8,396	16,105	21,898
経常利益	(百万円)	13,695	13,910	17,568	21,510	17,813	19,144	22,567	19,710	8,950	16,141	23,648
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	7,138	8,619	9,989	12,518	10,134	13,993	14,710	13,686	5,639	10,989	16,534
売上総利益/売上高	(%)	41.3%	40.3%	42.5%	44.7%	43.9%	42.0%	43.0%	42.3%	37.0%	39.0%	41.4%
販売費及び一般管理費/売上高	(%)	24.7%	25.8%	25.3%	25.4%	26.7%	26.1%	25.9%	26.9%	29.0%	26.2%	26.1%
営業利益/売上高	(%)	16.6%	14.5%	17.2%	19.3%	17.3%	15.9%	17.1%	15.4%	8.0%	12.8%	15.4%
経常利益/売上高	(%)	16.3%	15.7%	17.4%	19.2%	16.9%	15.9%	17.2%	15.5%	8.6%	12.8%	16.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益/売上高	(%)	8.5%	9.8%	9.9%	11.2%	9.6%	11.6%	11.2%	10.8%	5.4%	8.7%	11.6%
平均為替レート 1USD	(円)	78.89	93.16	102.98	121.03	109.78	112.33	110.53	109.36	106.94	109.41	130.61
平均為替レート 1EURO	(円)	102.63	122.62	139.37	134.92	121.39	126.20	130.68	122.53	121.60	130.04	137.60
総資産	(百万円)	121,689	134,503	142,302	155,129	156,081	166,712	178,020	190,414	200,112	209,757	228,852
自己資本	(百万円)	64,482	80,024	91,458	102,566	92,216	115,810	125,332	129,078	129,338	143,811	164,659
1株当たり当期純利益	(円)	75.16	90.76	105.20	131.78	110.59	153.70	150.47	140.06	57.94	112.63	171.54
1株当たり配当金 (中間)	(円)	10.00	10.00	14.00	26.00	22.00	21.00	22.00	23.00	11.00	14.00	23.00
(期末)	(円)	13.00	20.00	20.00	20.00	28.00	25.00	25.00	24.00	11.00	22.00	37.00
1株当たり純資産	(円)	679.01	842.71	963.15	1,079.12	1,024.34	1,191.65	1,279.29	1,328.08	1,327.22	1,472.45	1,721.14
期中平均株式数	(千株)	94,966	94,963	94,959	94,991	91,640	91,044	97,761	97,716	97,335	97,573	96,388
ROE	(%)	11.5%	11.9%	11.7%	12.9%	10.4%	13.5%	12.2%	10.8%	4.4%	8.0%	10.7%
自己資本比率	(%)	53.0%	59.5%	64.3%	66.1%	59.1%	69.5%	70.4%	67.8%	64.6%	68.6%	72.0%
営業CF	(百万円)	12,286	16,171	19,688	19,588	16,333	20,820	20,310	19,261	17,038	26,982	20,175
投資CF	(百万円)	-19,746	-2,972	-3,119	-16,976	-16,843	-7,566	-13,351	-20,314	-17,133	-6,961	-12,170
財務CF	(百万円)	8,643	-9,423	-12,813	-6,216	-778	-11,137	-4,723	3,465	9,658	-14,264	-14,740
キャッシュフローマージン	(%)	14.6%	18.3%	19.5%	17.5%	15.5%	17.3%	15.3%	15.1%	16.3%	21.4%	14.2%

OSGグループネットワーク





shaping your dreams



中期経営計画

Beyond the Limit 2024

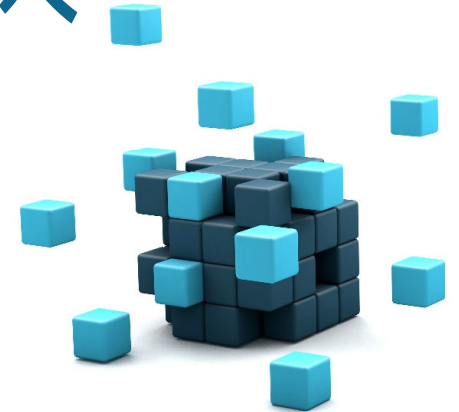
2022年11月期～2024年11月期

Beyond the Limit



長期ビジョン

カーボンニュートラル時代に向けて
世界のモノづくり産業に貢献する
エッセンシャル・プレイヤーへ

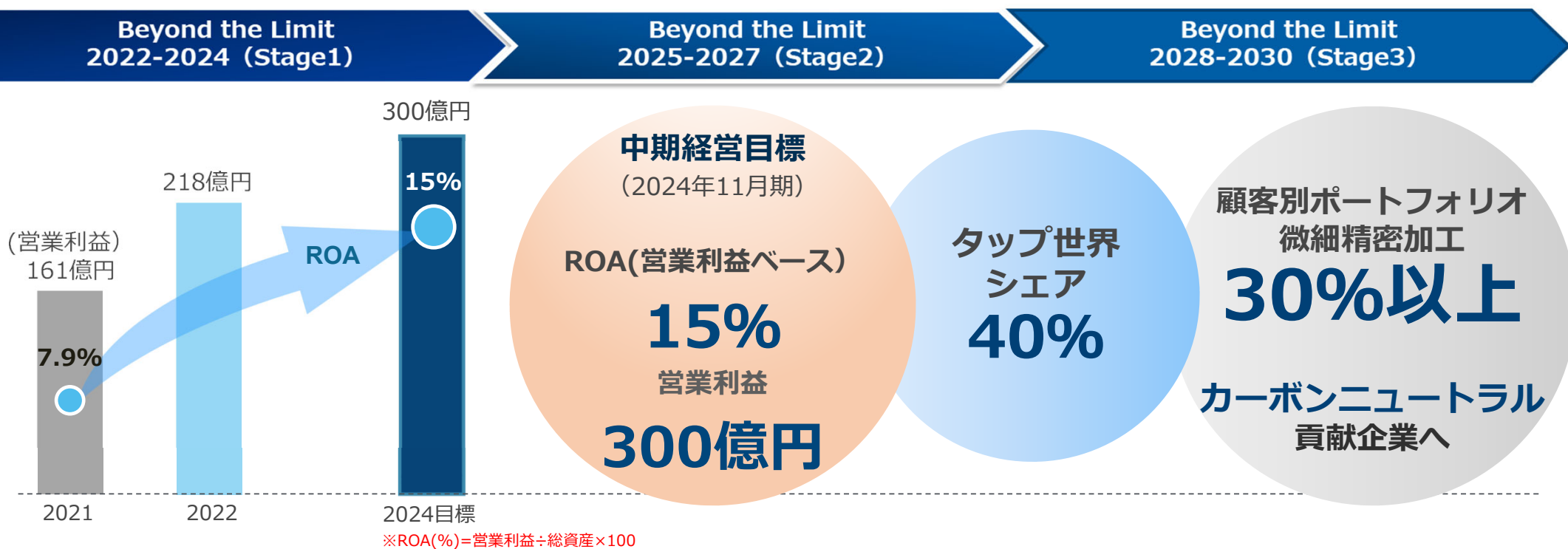


基本方針



事業効率の再強化を行い、安定して利益を生み出せる企業体質の強化を行う

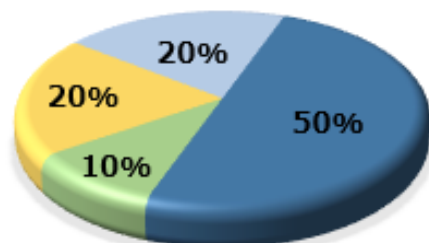
- 世界のモノづくり産業に貢献するエッセンシャル・プレーヤーとして変身するため、長期ビジョンを3つのステージに分けて、最初の3年をBeyond the Limit 2024として、体質強化を図る
- 3つのステップで、社会環境の変化に対応するよう、2030年までに顧客別ポートフォリオの構成を変化させていく
- カーボンニュートラル時代に向けて、グループ会社一体となって、全体最適をめざした企業価値向上へ取り組む



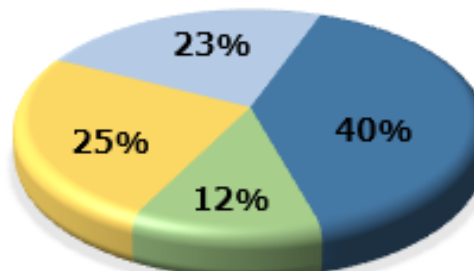
顧客産業別ポートフォリオ（目標）



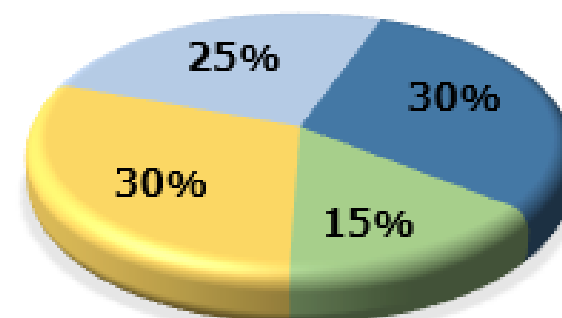
Beyond the Limit
2022-2024 (Stage1)



Beyond the Limit
2025-2027 (Stage2)



Beyond the Limit
2028-2030 (Stage3)



■ 自動車関連 ■ 航空エネルギー関連 ■ 微細精密加工 ■ 一般部品産業

基本戦略

- 収益性・事業効率を改善し強固な企業体質を作る
- Aブランドの標準品比率30%
- コーティング・再研磨比率10%
- 微細精密加工・エネルギー産業向け売上拡大
- デジタルを駆使した営業及び生産体制の確立

- トップ世界シェア40%を獲得
- Aブランドの標準品比率40%
- コーティング・再研磨比率15%
- デジタルなモノづくりのグローバル展開・最適地生産
- 微細精密加工・エネルギー・航空機産業向け売上拡大

- 顧客別ポートフォリオ構成は微細精密加工を30%以上へ
- 顧客のカーボンニュートラルに貢献する企業へ

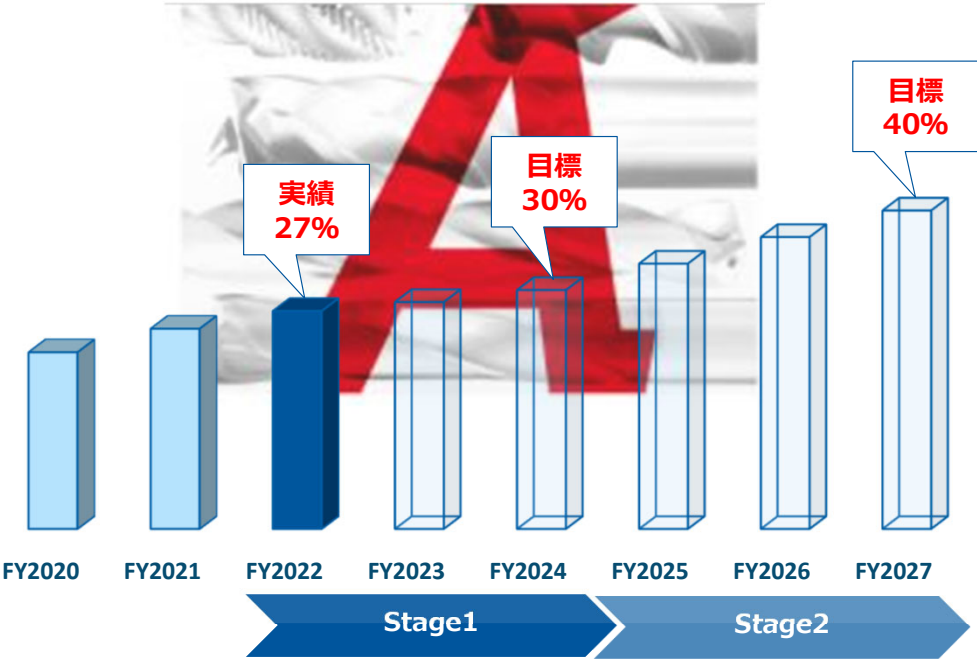
基本戦略（目標値）進捗



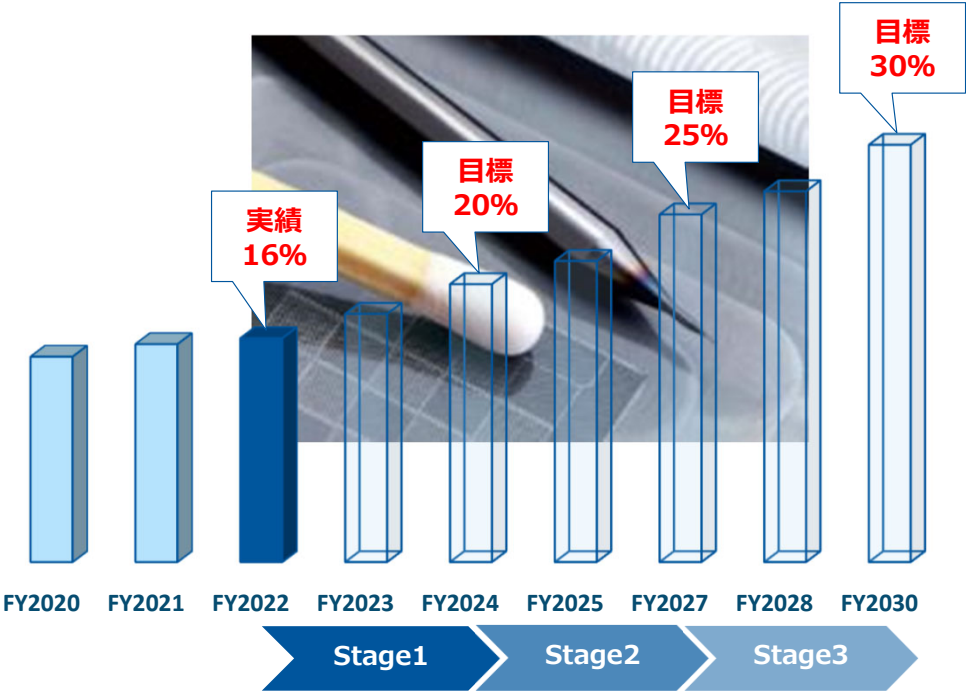
Aブランドは海外中心に伸長、微細精密分野において新規顧客の獲得進む

Aブランド比率

タップ、ドリル、エンドミルの売上に占めるAブランドの標準品売上比率



微細精密加工向け比率



超硬エンドミル新工場建設

超硬エンドミル生産能力の最大化に向けて、大池工場はデジタル化を取り入れた自動化工場へ建直しを行います。また、グループ子会社のエスデイ製作所が建設する新工場を小ロット対応の工場とすることで、グループ生産分業によって超硬エンドミルの供給体制を更に強化します。（新大池工場の建設資金調達にはグリーンボンド発行を検討）

新大池工場 完成イメージ ※施工業者選定中
2024年着工予定

エスデイ製作所 新工場完成イメージ
2023年着工予定



環境性能の認証取得を予定

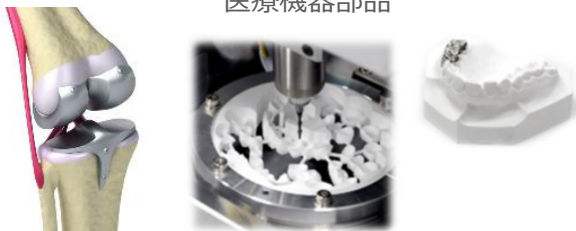


事業機会と成長分野

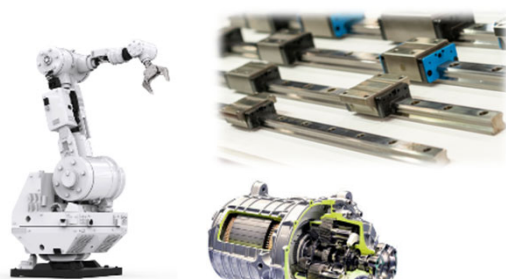
精密金型



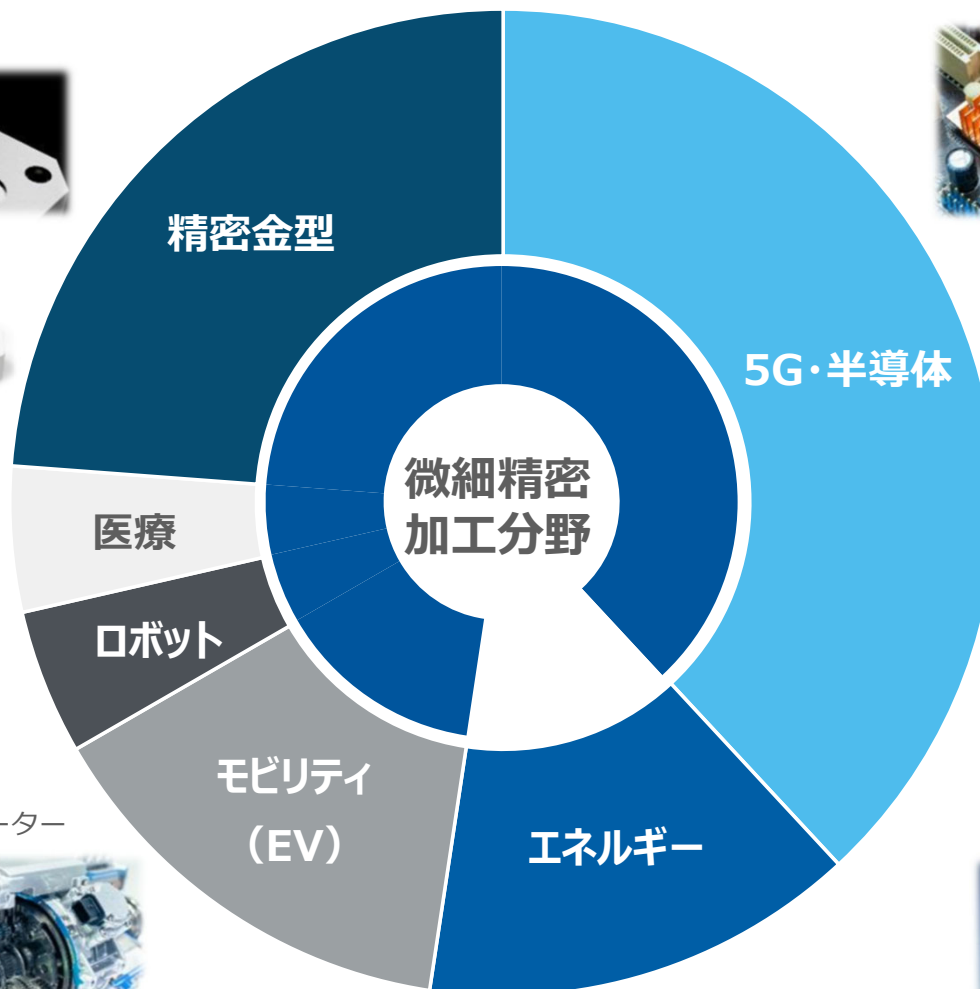
医療機器部品



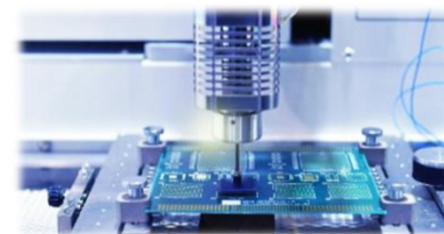
ロボット・自動化関連・機械部品



モーター



半導体製造装置部品等



風力発電



※グラフは当社イメージ

ESG経営の推進



サステナビリティ 基本方針

オーエスジーグループは、独自の高付加価値な製品とサービスを通じて、世界のモノづくり産業に貢献するエッセンシャル・プレーヤーとして、社会の持続的な発展に寄与することを目指します。

またCO₂排出量削減目標について、2030年度に2019年度比30%削減、2050年度にカーボンニュートラル達成を掲げています。

環境対応工具：新製品A-XPF

➤ 高能率・多機能転造タップ A-XPF

新製品A-XPF



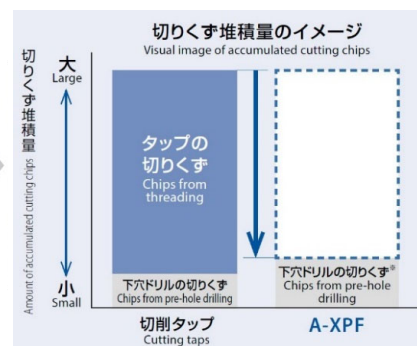
転造タップは、切りくずを発生しません。切りくず起因による突発的な工具交換や堆積した切りくずを除去する際の機械停止時間を削減できるため、お客様の設備運用が効率化され、使用電力を抑制できます。

タップ加工のトラブル TOP3 Tapping Troubles

No.1	折損・欠け Breakage and chipping	26%
No.2	ねじ精度の不良 Dimensional error	17%
No.3	むしれ、かじり等 Galling	14%
	その他 Others	43%

当社コミュニケーションダイヤルへの相談実績より
Source: OSG Technical Consultation Division

主な
トラブル要因は
“切りくず”
Main factor is chip
packing



また、人手に頼ることが多い切りくず除去作業が削減されることで、「作業環境の改善」も期待できます。

A-XPFは、加工が難しいと敬遠されてきた調質鋼に対しても推奨可能であり、お客様の加工環境に合わせた被削材や切削条件への対応領域が大きくなりました。

営農型オフサイトPPAサービスの実施に向けた協定締結

アグリガスコム株式会社、および中部電力ミライズ株式会社と、営農型オフサイトPPAサービスの実施に向けた協定を締結

オーエスジー専用の太陽光発電所にて発電された電気は2023年春頃から、オフサイトPPAサービスとして、オーエスジーの大池工場（愛知県豊川市）など4箇所の工場に20年間にわたり供給されます。オーエスジーは、専用の太陽光発電所に由来するCO₂フリー電気の活用により、年間約2,000トンのCO₂ 排出量を削減できます。



特例子会社 オーエスジーアクティブ株式会社が12月にスタート

障がい者雇用を通じてOSGのESG経営の一翼を担うべく、「**オーエスジーアクティブ株式会社**」が2022年12月13日から特例子会社としてスタートしました。

親会社から独立し、特例子会社になることで、障がいを持たれた方々の障がい症状や特性に配慮した環境を作ることが可能となり、親会社OSGの法定雇用率の達成にも貢献します。

なお、特例子会社設立は愛知県豊川市では当社のみ、**切削工具業界では初**となります。

障がいを持たれた方々6名とスタッフ4名での小規模スタートとなりますが、それぞれの作業現場で活躍し、1人1人が輝けるように活動してまいります。

▶特例子会社とは

特例子会社は、障害のある方の雇用の促進、そして安定を図るために設立された会社のこと

株主還元方針



配当性向は、現在の公約配当性向30%を、2022年度から35%に引き上げております。今後は業績の推移を見ながら、40%の配当性向を目指します。
また、自己株取得は、資本の状況、業績動向、当社の株価水準、成長投資機会、資本効率向上等を考慮し判断します。

